

はばただけ！
JTサンダーズ広島



久原 大輝

6月からの新シーズン始動を前に、JT社員の選手・スタッフは会社の営業研修を受けた。



「ひろえは街が好きになる運動」に参加した川口選手①、西選手②、坂下選手③
(25日)

① 支えを実感 充実の研修

われわれは「プロチーム」ではなく、「企業チーム」に分類され、社員選手は競技を引退後、オフィスでセカンドキャリアをスタートすることとなる。5月末に退団する中島健太選手もその一人だ。新型コロナウイルスの感染拡大前は、毎年5月に1週間程度、営業同行、工場研修、座学など、さまざまな経験をさせていただいていた。

今の研修では、サンダーズが所属する広島支社、ホームゲームの舞台にもなる、岡山支社と山口支社にお世話になった。

入社後初めて研修に参加した坂下純也選手は「研修を通して、サンダーズの認知度が思っていたより高いことを知り、改めて皆さまに支えられていることを実感した」と充実感を口にしていた。

さらにチームの認知度を上げ、より多くの方々へサンダーズのことを知っていただくために、今年も6月からバレーボール教室を中心とした、地域に根差した活動を予定している。

(JT広島マネジャー)